

10 家政に対する主婦の苦労感（第1報）——家庭科教育への示唆を得るための家庭における主婦の実態調査——

お茶の女子大 末広 和子

1 家政に対する主婦の労感苦は、主婦、個人の幸福家庭の明るい人間関係、円滑な家庭経営の障害になると考えられる。苦労感軽減のための条件や、家庭科教育への示唆を得る目的でつぎのような調査を行った。

2 主婦が現在苦労に思っている家事の内容と、子供時代と比較して「らくになった」と思っている家事の内容とについて実態調査（調査対象者は主婦500名、質問紙法、回答は当方においてあらかじめ用意した多項選択の形式をとった）を行い、その結果を、回答各項目について集計し、一般的傾向と、家族構成、職業等の生活条件、および年齢、学歴等の主婦の個人的条件の相違によって、このような差異がみられるか等について調べた。

3 一般的傾向としては、①現在苦労になっていることは、時間的負担よりも気苦労の面に多く、特に子供の教育についての精神的負担を答えている主婦が32%にも及んでいる。②「らくになった」のは、からだや時間の面に多く、特に衣生活では約50%の回答がみられた。諸条件との関係では①世帯主の職業の相違に最も顕著な回答の差異がみられる。②家事内容の各項目ごとに統計的検定を行った結果では、特に子供の教育に対する精神的負担が生活条件と有意な関係にあることが認められた。